

令和5年度 放課後等デイサービスひかり自己評価

公表: 令和6年3月1日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	1	個別のスペースが必要な場合はパーテーションやフロアマットの使用により簡易的にスペースを作り対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか	9	0	0	基本的には十分であるが、利用者全員で外出を行う際には不足を感じる事がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	4	利用者の使用については現状目立った問題点はないが、段差がある箇所もあるため、バリアフリー化は行っていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	2	定期的に会議はしており、参加できない職員には回覧等で共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	アンケートを行い、いただいた意見は職員で精査し改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	3	全保護者へ配布し、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	2	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	0	研修内容に合わせて適切な職員が参加できるよう機会の確保を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	0	0	アセスメントに基づき、保護者要望等を聞き計画を立てている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	0	0	会議で話し合い、オリジナルのアセスメントを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	長期休暇や季節行事など、職員間で事前に会議を行いプログラムを決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	2	個々の課題に合わせて工夫はしているが、企画の内容に偏りがある利用者もいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	3	平日は利用者に自由に活動してもらうための支援を中心としており、休日、長期休暇は外出企画を中心とし、活動内容を変えている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	1	利用者自身の特性や意見を考慮して計画を立てている。個別、集団の企画の割合も利用者自身の意見に合わせているようにしている。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	積極的に確認等を行うようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	0	0	支援している中で細かなことであっても気付いた点を記録している。 送迎の際、保護者に家での様子をできる限り聞くよう努め、終礼や引継ぎ記録で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	日々、支援記録を取っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	1	6か月ごとにモニタリングを行い、計画の見直しをしている。 緊急の要望や事案があればその都度見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	9	0	0	
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	0	0	会議には最も対象の利用者の状況を把握できている職員が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	0	0	学校行事や下校時間については事前に保護者から情報を得ている。送迎時の対応は帰りの送迎時に行い、緊急時はすぐに保護者と連絡をとるようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	3	医療的ケアの必要な児童の受け入れはない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	4	就学前の関係施設と連絡を取ることは少ない。 必要であれば保護者から情報を得ることが多い。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	0	0	移行先からの要望や保護者からの要望があれば提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	2	必要に応じて各所と連絡を取っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	6	法人内での施設交流や公園等での地域の子供との交流はあるが、企画として行っておらず、機会は充分とはいえない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	0	3	自立支援協議会子ども部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	送迎時等に情報共有は密に行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	0	4	あまり行えていない。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	契約時に十分な時間を取り、説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	相談があった際には職員間でも話し合い対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	0	7	事業所と保護者の方々との連携はできているが、保護者同士まではできていない。一部保護者間でやり取りをされている方もいる。 保護者会等の運営はない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	苦情事案、確認内容を記録し迅速に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	3	不定期に施設で過ごしている際の写真を配っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	毎年度、全職員に誓約書を取り、注意を促している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	ピクチャーカード等を取り入れ、視覚的に分かり易い伝え方を意識し、活用している。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	0	7	スタッフの人数やスペースの都合上、地域住民の招待は難しい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	0	0	職員周知はしているが保護者への周知は十分とは言えず、今後行っていく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	0	避難訓練や水害に対する訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	出来る限り多くの職にの研修の参加を促しており、伝達研修を行うようにしている。 日々の迷うような対応についてその都度、話し合い、より良い方法を模索している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	0	0	身体拘束を行う場合は、事前に保護者了承の上、支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	0	0	医師からの指示書はないが、保護者の指示により対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	職員全員が見るようにチェック表をつくっている。 危険な事例があれば、昼礼、終礼、会議にて共有している。